



日中平和友好条約締結40周年

香港の小中学校3校に太陽光発電システムを寄贈

公益財団法人イオン環境財団（理事長 岡田卓也 イオン株式会社名誉会長相談役）は12月1日（土）、中華人民共和国香港特別行政区（以下、香港）の小中学校3校へ太陽光発電システムを寄贈しました。

太陽光発電システムの寄贈は、再生可能エネルギー活用の啓発・普及および環境教育を目的に、当財団設立20周年記念事業として2009年に開始したものです。寄贈先は、中国・マレーシア・ベトナム・日本の4カ国、合計48校、うち中国では13校となります。

当財団は、世界が直面する環境問題に取り組むとともに、日中のさらなる国際協力を促進するため、1993年より「日中環境国際シンポジウム」を開催しています。当財団設立25周年にあたる2015年には、北京市で4回目の本シンポジウムを開催しました。総括として、2016年からの3年間、植樹活動の継続と環境教育の推進を北京市人民政府と合意し、「イオン北京環境提議」を発表しました。同提議に基づき北京市密雲区において植樹を実施するとともに、武漢市の小中学校10校に太陽光発電システムを寄贈しました。

2018年は、日中平和友好条約締結40周年にあたることから、太陽光発電システムの寄贈を、引き続き中国香港で実施しました。本事業は、外務省より「日中平和友好条約締結40周年記念事業」に認定されています。

当財団は本事業を通じ、日中のさらなる交流促進に貢献するとともに、今後も、いのちあふれる美しい地球を次代の子どもたちへ引き継ぐため、さまざまな環境保全活動に積極的に取り組んでまいります。

贈呈日 2018年12月1日（土）
 贈呈式場所 イオンストアーズ（香港）
 イオンスタイルコーンヒル店
 主催 公益財団法人イオン環境財団
 共催 イオングループ中国本社
 イオンストアーズ（香港）
 イオンクレジットサービス（アジア）
 後援 在香港日本国総領事館
 寄贈校 滬江小学・東華三院邱子田記念中学・東華三院呂潤財記念中学
 出席者 香港特別行政区環境局 副局長 謝 展寰 様
 イオン株式会社 執行役 中国事業担当 羽生 有希
 公益財団法人イオン環境財団 事務局長 山本 百合子



以上

ご参考

【公益財団法人イオン環境財団について】

「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」というイオンの基本理念のもと、1990年に設立されました。設立以来、環境活動に取り組む団体への助成や、国内外での植樹活動、生物多様性への取り組みを主な事業として、さまざまな活動を継続しています。イオンの植樹は1991年のスタートから数え、当財団の植樹本数を合わせて累計1,177万本（2018年10月末時点）を超えています。

（イオン環境財団ホームページ <http://www.aeon.info/ef/>）

■植樹事業

各国政府や地方自治体と協力し、自然災害などで荒廃した森の再生を目的としてアジアを中心とした世界各地で植樹を行っています。2018年度は、国内では福島県南相馬市、三重県松阪市、宮城県亘理町、宮崎県綾町、大分県竹田市、千葉県千葉市、沖縄県宜野湾市にて、海外では中国・北京市、ミャンマー・ヤンゴン、インドネシア・ジャカルタにおいて植樹活動を実施しました。

【香港における植樹活動】

2007年「香港植樹」

2006年の山火事により木々が焼失した大欖郊野公園において、香港政府による修復プログラムが行われていることを受け、2007年6月に、イオンストアーズ（香港）、イオンクレジットサービス（アジア）の従業員のほか、近隣の住民や学生、日本からのボランティアの皆さま合計350名が参加し、2万本の苗木を植えました。



2007年 香港植樹

■助成事業

【環境活動助成】

1991年より27年間「生物多様性の保全と持続可能な利用」のため、国内外の地域において、積極的に環境保全活動を継続している団体への助成支援を行い、累計では2,846件、総額25億9,200万円となりました。2018年度は、「植樹」、「里地里山里海の保全・河川の浄化」、「環境教育」、「野生生物・絶滅危惧生物の保護」の4つに改編し、新聞広告、イオン店頭告知、ウェブ等の媒体の活用と、募集パンフレットの作成・配布を実施しました。また事前説明会をイオンモール幕張新都心・イオンモール高崎店・イオン福岡店・東京都内で開催し、環境活動報告会をイオンモール高崎にて初開催しました。

■連携事業

【生物多様性アワード】

生物多様性の保全と持続可能な利用の推進を目的として、「生物多様性みどり賞（国際賞）」と「生物多様性日本アワード（国内賞）」の2つのアワードを創設。隔年で開催し、顕著な環境保全活動が認められる個人・団体を顕彰しています。2017年度は、第5回「生物多様性日本アワード（国内賞）」、2018年度は第5回「生物多様性みどり賞（国際賞）」を実施しました。



第5回「生物多様性みどり賞」受賞式

【イオン環境セミナー】

国際的な視野で生物多様性の価値を問い直し、「新たな価値共有ができる教育を行うこと」を目的とするプログラムを実施しています。2016年10月6日～10月7日ベトナム国家大学ハノイ校で初めて開催しました。本年は9月22日（土）から2日間、インドネシア大学にて開催しました。



第3回生物多様性を越えて
(インドネシア大学)

【イオン未来の地球フォーラム】

地球の環境変化や環境問題について、参加者とともに解決方法を考え、実行策を議論し、講演と対話型パネルディスカッションにおいて理解を深め、成果をまとめる「イオン未来の地球フォーラムを開催しています。2019年2月2日（土）には、東京大学安田講堂にて、「第3回イオン未来の地球フォーラム」の実施を予定しています。



第2回イオン未来の地球フォーラム（東京大学）

■環境教育事業

【アジア学生交流環境フォーラム】

グローバルなステージで活躍する環境分野の人材育成を目的として、アジア各国の大学生が集い、各国の自然環境や価値観の違いを学びながら地球環境について国境を越えて討議をする、「アジア学生交流環境フォーラム（ASEP）」を実施しています。

2018年度は、「熱帯雨林からの贈りもの」をテーマに、王立プノンペン大学（カンボジア）、清華大学（中国）、インドネシア大学（インドネシア）、早稲田大学（日本）、高麗大学校（韓国）、マラヤ大学（マレーシア）、ベトナム国家大学ハノイ校（ベトナム）、チェラロンコン大学（タイ）、ヤンゴン経済大学（ミャンマー）の9ヶ国合計72名の学生が参加し、8月2日～5日の期間、マレーシア・クアラルンプールで開催しました。



第7回開講式（マラヤ大学内）